

# 3月のほけんだより

令和6年3月号  
双葉保育園

比較的暖かい日の多かった2月中は、お散歩に行ったり、園庭に出て外遊びを楽しんだりと活動的に過ごしていました。一方で、寒暖差があり、体調を崩すお子さんも多く見られました。

今年度も残すところあと一か月。子どもたちが元気に過ごせるよう見守っていききたいと思います。

## 《2月の感染症等欠席状況》

発熱・呼吸器症状・・・67人  
新型コロナウイルス・・・1人  
インフルエンザ・・・2人  
溶連菌感染症・・・9人  
リンゴ病・・・2人  
胃腸炎(下痢・嘔吐)・・・12人

## 《3月の保健行事》

健康診断:つくし組  
3月15日(金)12:15頃から

『からだを知ろう!』:さくら組  
日程は後日、お知らせします

## リンゴ病(伝染性紅斑)について

軽度の風邪症状から始まり、全身の倦怠感、関節痛、筋肉痛、頭痛などの症状が見られ、両頬に紅斑が見られます。胸や背中、腕、太ももにレース状の紅斑が見られることもあります。

紅斑が出た時はウイルスの感染性はないとされていて、前駆症状の風邪症状等の時に飛沫感染します。

紅斑に対しては特に治療はなく、数週間で消えていきます。紅斑が出ていても登園可能ですが、まず受診し、医師の診断を仰ぎ、口頭許可を得てください。登園の際は登園届(保護者記入)が必要です。

お子さんの肌が赤くなっていたり、普段は見られない発疹が出ていたりするときは、感染症によるものか、登園可能なものかどうか医師の診断を仰いでからの登園をお願いします。

## 3月3日は耳の日 耳の健康について

### 長引く鼻水に御注意ください!

○黄色っぽい濃い色の鼻水 ⇒ 鼻粘膜や副鼻腔に炎症が起こっている



細菌やウイルスが耳管を通り中耳(鼓膜の奥)で炎症が及ぶ

↓ 「耳が痛い」

急性中耳炎

○透明・さらさらした鼻水 ⇒ 花粉やハウスダストなどのアレルゲンを吸い込んで起こる鼻炎

↓ 「耳が詰まった感じがして聞こえが悪い」

滲出性中耳炎

長引く鼻水をこじらせると、炎症が鼻から中耳に広がり、急性中耳炎や滲出性中耳炎に発展する可能性があります。熱がなくても鼻水が長引くときは早めに耳鼻科・小児科を受診してください。



## おたふくかぜワクチン接種について



おたふくかぜ(ムンプス)の合併症のひとつに「ムンプス難聴」というものがあります。片耳だけに起こることが多いですが、まれに両耳に重度の感音性難聴が起こります。片耳だけに起こった場合、子どもの場合気付かれずに見落としてしまうこともあります。

ムンプス難聴には、おたふくかぜワクチンを接種することが、予防になります。

調布市では1才～2歳未満を対象に、おたふくかぜワクチンの費用の助成が受けられます。

**接種費用:**自己負担額 3,000 円(費用 6,600 円のうち 3,600 円を市が助成。(1 回分のみ) \*2 回接種が推奨されています。

\*おたふくかぜワクチンは任意予防接種です。接種を希望される方は、指定医療機関に予約して接種を受けてください。